備陽史探訪の会

3月・4月・5月の行事日程一覧

3月4日（土）【ぶら探訪 47】（要申込）
「福山城外堀をぐるっと巡る～街に埋もれた痕跡を探して～」

3月12日（日）【測量調査】（要申込）
「山手銀山城跡測量調査」

3月25日（土）【青春18きっぷの旅】（キャンセル待ち）
「三江線に乗って戦国山城（琵琶甲城跡）を訪ねる」

3月26日（日）【分布調査】（要申込）
中世石造物調査「新市町」

4月1日（土）【ぶら探訪 48】（要申込）
「要害山探訪」

4月1日（土）【恒例】（要申込）
「花見 in 要害山山頂公園」

4月9日（日）【測量調査】（要申込）
「山手銀山城跡測量調査」

4月22日（土）【分布調査】（要申込）
中世石造物調査「瀬戸町」

4月23日（日）【バス例会】（要申込）
「芸北の吉川氏（予定）」

5月6日（土）【ぶら探訪 49】（要申込）
「福山古墳ロード クイズ＆スタンプラリー」

5月14日（土）【歴史ウォーク】（要申込）
「歩いて学ぼうわたしたちの福山 - 深津をめぐる - 」

5月27日（土）・28日（日）【一泊旅行】（予定）
「大内氏盛衰の跡を訪ねる（仮称）」

3月11日（土）【近世・近代史部会】「近世福山を読む」
3月18日（土）【中世史部会】「中世を読む」
2月25日（土）【古代史部会】「古墳講座」
3月31日（金）【古文書解読会】
4月8日（土）【近世・近代史部会】「近世福山を読む」
4月15日（土）【中世史部会】「中世を読む」
4月22日（土）【古代史部会】「古墳講座」
4月27日（木）【古文書解読会】

◎4月の「古文書解読会」は第4木曜日です。
おまちがえなきよう、ご注意ください。

2017（平成29）
行事案内
3月号

備陽史探訪の会の目的
備後を中心とした地域の歴史を研究し、愛郷の精神を涵養する。
（会則第1章第2条より）

行事参加のお申込は

「要申込」のある各行事参加の申込は以下のいずれかよりお申込ください。

◎公式サイトの参加申込フォーム
「http : bingo-history.net」
◎事務局へメール
[info@bingo-history.net]
◎田口会長宅へ電話
[084-953-6157]

〔備陽史探訪の会事務局〕
〒720-0824
広島県福山市多治米町5-19-8
TEL&FAX 084-953-6157
E-mail info@bingo-history.net

公式サイト
http://bingo-history.net

3月25日(土) 青春きっぷの旅

三江線に乗って戦国山城を訪ねる
―毛利の重臣口羽通良の居城 石見口羽の琵琶甲城跡―

【集　合】 午前７時福山駅改札口前　※雨天決行
（午前７時１８分の福塩線府中行に乗車します）

【参加費】 3,300円（会員）・3,800円（一般）
【募集数】 20名程度
【講　師】 田口義之（会長）
【主な見学地】
◎琵琶甲城跡（島根県邑南町口羽）
◎宗林寺（同上）
◎宮尾八幡神社（同上）
【その他】
※弁当・飲み物持参、歩きやすい服装で。
※午後７時半頃、福山駅に帰着予定です。

このたび満員御礼のため、募集は締め切りました。希望に添えなかった皆様申し訳ありません。しかし、申込多数のため、秋に同じコースで再度開催も検討中です。

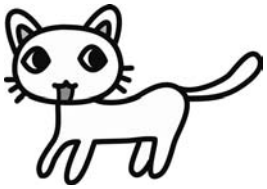
3月4日(土) ぶら探訪47

福山城外堀をぐるっと巡る
～街に埋もれた痕跡を探して～

福山城の外堀跡を辿ります。市街地に残る僅かな痕跡を結んで、失われた姿を想像しつつ、のんびりと歩きます。見慣れた場所の中に新たな発見があるかもしれません。坂道の一切ない歩きやすいコースですので、お気軽にお越しください。

【集　合】 午前９時30分　※雨天決行
広島県立歴史博物館前の公園

【参加費】 100円（会員）　300円（一般）
【講　師】 田中伸治（近世近代史部会幹事）
【その他】
※飲み物持参、歩きやすい服装・靴で参加。
※解散は福山城北側（11時30分頃の予定）



3月12日(日) 測量調査

山手銀山城測量調査

山手銀山城の測量調査が始まります。測量してみたい方、見学だけの方、初めての方の参加も歓迎です！

【集　合】 午前９時
里山広場（弘法の水の南側）

要申込

【その他】
※午後４時頃解散予定。
※お弁当・飲み物・筆記用具を持参してください。
※雨天の場合は中止します。
※なお、次回は４月９日（日）に実施予定。

平板測量を用いた縄張図の作成を行います。経験のない方、見学だけの方もＯＫ！山城に興味のある方ならどなたでも参加できます。

3月26日(日) 分布調査

中世石造物調査

三月は、新市町を調査します。
事前の所在確認や調査カード作成をお願いします。

【集　合】 午後１時30分
新市支所　駐車場
（新市町大字新市1061番地１）

要申込

【その他】
※雨天の場合は中止し、後日実施。実施可能かどうか、微妙な天気の際は、田口会長宅へ電話での確認をお願いします。
※なお、次回４月22日（土）は瀬戸町で実施する予定です。

中世石造物調査、山手銀山城測量調査も どなたでも参加きます お気軽どうぞ。

4 月 23 日(日)　バス例会

毛利の両川 吉川氏 興亡の跡を訪ねる

要申込

安芸の国の北端に位置する山県郡北広島町は、安芸を代表する国人領主だった吉川氏が、鎌倉時代に西遷武士として入部して以来、地頭から国人領主へと成長し、更には戦国大名として大きく飛躍した地である。しかも、その遺跡は良好に残り、「吉川氏城館跡」として昭和６１年国の史跡に指定された。今回は、この吉川氏城館跡の内、国人領主吉川氏の拠点であった小倉山城跡、戦国武将吉川元春の平時の住まいであった吉川元春居館跡、元春の嫡男元長の菩提寺跡である万徳院跡を訪ね、中世の息吹を感じてみたい。

【集　合】 午前７時 50 分（雨天決行）
JR 福山駅北口観光バス乗り場

【参加費】 3,800 円（会員）
4,300 円（一般）

【募集数】 48 名

【講　師】 田口　義之（会長）

【主な見学地】

①大朝郷土資料室（北広島町新庄）
小倉山城跡や吉川氏関係の資料を展示。

②小倉山城跡（同）（国史跡）
15 世紀前半、吉川経見が築き、以後戦国時代まで吉川氏の本拠となった中世山城跡で、曲輪や切岸などが良好に残っている。

③吉川元春居館跡（北広島町海応寺）（国史跡）
天正 11 年（1583）、嫡男元長に家督を譲った元春が隠居所として造営した居館跡で、正面には高さ３メートルの巨石を使った見事な石垣が残っている。

④戦国の庭歴史館（同）
歴史公園吉川元春居館跡に設けられた有料の展示施設で、発掘の成果や吉川氏の資料などが展示されている。

⑤万徳院跡（北広島町舞綱）（国史跡）
天正２年（1574）、元春の嫡男元長が創建した禅宗の寺院の跡で、湯殿などが復元され、隣接して本堂を外観復元したガイダンスホールが設けられている。

【その他】
※弁当飲み物持参、歩きやすい服装で。
※午後５時半福山駅北口着、解散予定。

4 月 1 日(土)　ぶら探訪 48
4 月 1 日(土)　お花見

要害山探訪 とお花見

要申込

毎年恒例のお花見をかねた「ぶら探訪」を、今回は福塩線湯田村駅を基点に実施します。要害山は、戦国時代の砦の跡で、土塁や空堀、枡形虎口などの貴重な遺構が残る、福山地方を代表する中世山城遺跡です。また、城跡には地元の皆さんによって桜が植えられ、お花見の名所にもなっています。戦国時代に思いを馳せながら楽しいひと時をご一緒しましょう。

【集　合】 午前９時 30 分　※雨天決行
ＪＲ福塩線「湯田村」駅

【参加費】 100 円（会員）　300 円（一般）

【講　師】 田口　義之（会長）

【募集数】 50 名

【主な見学地】
要害山城跡、箱田良助（榎本武揚の父）生家跡など

【その他】
※飲み物持参、歩きやすい服装・靴で参加。
※解散は１１時半、現地解散の予定です。

「お花見」

要申込

ぶら探訪解散後に実施
場所　要害山山頂公園
（雨天の場合は麓の神社境内）
会費　2,000 円（飲み物代を含む）
募集人員　３０名程度
※「お花見」だけの参加も大歓迎♪

バス例会のキャンセルについて

３日前のキャンセルはキャンセル料は不要ですが、３日から２日前のキャンセルは参加費の半額、当日のキャンセルは参加費の全額を申し受けます。

行事に参加する時は、会員証を忘れずに

行事に参加する時は、会員証を携行してください。必要な時はご提示願います。よろしくご協力ください。（特にバス例会などは名札として代用しますので、忘れないようにしてください。団体行動する会員の身分証明でもあります。）

備後歴史研究会新聞

第12号

備陽史探訪の会発行
復刻『山城探訪』好評発売中！

山城ファンにして「バイブル」と言わしめた『山城探訪』。平成七年に発刊して絶版になっておりました。福山周辺の山城三〇をピックアップして紹介したものです。山城ファンにバイブルとして愛読されているためか、古本市場にも滅多に出回ることのない、マニア垂涎の山城本でした。

このたび、ようやっと復刻版が発刊されました。改訂版として出せればよかったのですが、なかなか難しく、復刻という形になったようです。

それでも、地域ごとのインデックスがついたりして、若干の新しさも……。

市内の啓文社に、小林定市さんの「福山地方史論集」と共に、仲良く並んでおりますが、マスコミ各社の取材・記事掲載もあり、現在、順調な売れ行きだそうです。ひとりで複数冊買って行かれる人もいるようですよ。

すでに朝日新聞と毎日新聞で掲載されましたが、そのうち中国新聞にも掲載されるかもです。楽しみですね。

ちなみに今回は、会長と事務局長代理の山岡忠行さんが記者発表されました。朝日新聞に名前が載ってないので「ナゼ？」と思ってしまいますが、会員さんにはもう顔馴染みですよね☆

会員の田口由実さんの本、発刊。

会報194号に掲載された故・小林定市さんの『福山地方史論集』に続き、会員の田口由実（筆名・秋山由実）さんの本発刊のお知らせです。夏頃の予定が遅れに遅れてやっと刊行間近になりました。

福山リビング新聞に掲載している「路傍の語りべ」が一冊の本になって福山リビング新聞社より発刊されます。市内の啓文社にて取り扱いますが、備陽史探訪の会会員様には定価より若干安い価格にてお分けすることができるようです。但し、直接渡せる人のみです。まだ、発刊していませんので、詳しい内容は次の行事案内で掲載できる予定です。ご購入予定の会員さんは、次の行事案内までちょっと待っててくださいね。

朝日新聞 2017年（平成29年） 2月8日（水曜日）

第3種郵便物認可　朝日新聞

「山城探訪」を復刻
備陽史の会 実地測量図 収録

備後地方の郷土史を研究している「備陽史探訪の会」が、主要な山城を調べた本「山城探訪―福山周辺の山城三〇選」を復刻した。約22年前に発行した後、すぐに売り切れ、今も「山城ファン」を中心に全国から問い合わせがあり、復刻を決めたという。

収録されているのは鎌倉～戦国時代に築かれ、福山市など県内に限らず、岡山県笠岡市のものなど。どの山城も会のメンバーが実地で測量した平面図が付けられているのが特徴で、青ケ城跡（福山市）といった、まだ公的な調査を受けていない城も収録された。

田口義之会長によると、もともと1995年5月に会の創立15周年の記念事業として発行。増刷分も含めて1500部が発行から約1年間で完売したという。

今回の復刻に際し、修正は平成の大合併に伴う地名の書き換えなど最小限にとどめ、かわりに大幅に写真を増やした。会が精力的に調査している銀山城跡（同）なども最新の写真を掲載。田口会長は「山城が好きな人が多くなり、フィールドワークをするためのガイドブックにしてほしい」と太鼓判を押す。

「山城探訪」は、A5判で1部1500円（税別）。問い合わせや注文は会の事務局（084・953・6157）やホームページ（http://bingo-history.net/）で。

（雨宮徹）

復刻された「山城探訪」を披露する「備陽史探訪の会」の田口義之会長（右）＝福山市内

田口義之の
備後山城50選 13

広沢江田氏の本拠
旗返山城跡

◎山城としての評価A
◎登り易さC
◎分り易さB

所在地　三次市三若町
比高　約二〇〇メートル
築城者　広沢江田氏

城の歴史　応仁の乱と、戦国時代の二度にわたって大きな合戦の舞台となった有名な山城である。城の歴史は、室町時代の初めにさかのぼる。鎌倉時代、三谷郡の地頭に補任された武蔵国の広沢氏は、庶子を領内各所に入部させ、勢力の拡大に努めた。その1人、郡内江田村に土着したのが広沢江田氏で、当初三次市向江田の天良山を本拠としていたが、のち本拠を郡内西南部の美波羅川流域に移し、当城を築いて本拠とした。

最初に史上に登場するのは文明7（1475）年のことで、西軍に応じた江田氏は、この城に籠城して東軍の軍勢を迎え撃ち、毛利氏の援軍を得て撃退した。

二度目は天文22（1553）年のことで、大内氏を裏切って尼子氏に味方した江田隆連は、大内・毛利の連合軍に攻められ、隆連もよく戦ったが、尼子の救援も及ばず、同年10月陥落し、江田氏は滅亡した。

見所　典型的な戦国山城で、「く」の字形に構築された曲輪群は、普請もしっかりしており、長期間に亘って修築が繰り返されたことを物語っている。遺構の様子を見ると、虎口や石垣、竪堀の構築は未熟で、落城後しばらくして廃城となったことがうかがわれ、16世紀中ごろの山城の様子を示す遺跡として貴重である。

旗返山城跡を望む

正面からの登山は無理で、北方山続きからの、林道沿いから攻略することをお勧めする。

びんご歴史クイズ22

↓点線で切り取ってハガキに貼って応募してください。

① 白雉という年号は備後国司が白い雉を献上し、それは目出度いという理由で改元されましたが、その雉が獲れた郡が次の内どれでしょうか？
イ）安那郡　ロ）三谷郡　ハ）神石郡　ニ）怒可郡

② 吉川元春の推挙で神辺城主となり、後に伯耆尾高城主を兼任して元春の配下として活躍した武将。
イ）杉原盛重　ロ）三吉隆亮
ハ）宮高盛　ニ）山内隆通

③ 江戸時代の後半、備後の内2万石が豊前奥平氏の領地となりましたが、主に奥平領となった郡はどこでしょうか？
イ）三上郡　ロ）神石郡　ハ）安那郡　ニ）甲奴郡

④ 昭和29年に誕生した松永市は主に沼隈郡西部の町村が合併して誕生した市でしたが、合併に反対して尾道市に編入された町はどれでしょう？
イ）小原町　ロ）土堂町　ハ）久保町　ニ）高須町

⑤ 備陽史探訪の会が福山市と協働で整備した福山古墳ロードに含まれていない古墳はどれでしょう。
イ）二子塚古墳　ロ）宝塚古墳
ハ）山の神古墳　ニ）大佐山白塚古墳

びんご歴史クイズ全問正解者に「ぶら探訪参加券」をプレゼント！6枚綴りになっており、しかも、会員・一般共通という太っ腹企画！（但し、換金、転売はご容赦を！）
全問正解者が多い場合は抽選とさせていただく場合もあります。あらかじめご了承ください。

○応募申込は
事務局宛てにハガキで応募、
（左の点線で切り取って答えに○してハガキに貼ってください。）
もしくはインターネットの公式サイトの応募フォームから
※電話での受付はありません。

○応募締め切りは
3月20日（月）まで

※正解と当選者の発表は会報194号で。

5月6日(土) **ぶら探訪 49**

要申込

福山 古墳ロード クイズ&スタンプラリー

challenge 1

2006年～2008年にかけて備陽史探訪の会が福山魅力づくり事業の一環として福山市と協働で設置した「福山古墳ロード」。このA～Cコースのスタンプラリーが始まります。チャレンジ1はAコースです。スタンプ全部集めて古墳ロードをコンプリートしよう☆
各ポイントではクイズも出題。お子さんには「古墳博士」認定証も発行します。

【集　合】 午前9時　※雨天の場合は秋に延期
ＪＲ福塩線近田駅

【その他】
※飲み物持参、歩きやすい服装・靴で参加。
※近田駅～服部大池まで全長3.3kmです。
※解散は服部大池（12時頃の予定）
帰りは服部大池より駅家駅まで1km歩きます。

事務局からのお知らせ

同封物に関するお知らせです。

年会費が未納入の会員様へ

2017年度の会費が未だの方に、振込用紙を同封させていただいております。急ぎ、ご入金のほど、よろしくお願い申し上げます。

備陽史探訪の会は皆様の会費で様々な活動や会報・行事案内の発行を行っております。未だの方はよろしくお願い申し上げます。

備陽史研究第25集

備陽史探訪の会の紀要『備陽史研究第25集』を発行しましたので、会員様にお届けいたします。会員様には一封筒に一冊ずつ無料でお届けしております。もし二冊目以降の入用があれば、1,000円で頒布いたしますので、事務局までご連絡ください。
※第26集の原稿締め切りは年末です。

5月14日(日)　歴史ウォーク

万葉の歌と伝説に彩られた古里

深津島山を歩こう

古代から現代までクイズをしながら楽しく歩こう

深津島山子供クイズラリーに挑戦！

クイズ参加者・優勝者には賞品・参加賞があります。（但し対象は高校生まで）

深津島山しばしくも

君が目見ねば・・・

歩いて学ぼう　わたしたちの福山
―深津をめぐる―

共催　備陽史探訪の会
　　深津学区まちつくり推進委員会
後援　福山市教育委員会

★開催日　　5月14日（日）
　　※小雨決行・大雨中止
★集合場所　　深津公民館
★受付開始　　午前8時10分
　　開会式・出発8時30分
★解散　　12時（深津公民館）
★駐車場　　緑地公園（深津公民館西隣・東深津保育所の北）・ＪＡ深津
★主な見学先
　塩崎神社・王子神社・福山累層・薬師寺・辻の坂・翠松館跡・長尾寺・道標・深津畷
★参加費　　１００円　　＊但し、高校生まで並びに深津学区の人は無料
★申し込み
・備陽史探訪の会 084-953-6157 または http://bingo-history.net は5月5日まで
・ただし、深津学区にお住まいの方は、4月21日までに町内へ配布の申込書を深津公民館に提出してください。深津小学校、東中学校の生徒さんは各学校に提出してください
★子どもさんは解答を書き込むため、必ず、筆記用具をご持参ください。

雨の場合のお問い合わせは
開催幹事　高木 090-7131-6412
　〃　　種本 090-6431-7753
備陽史探訪の会 084-953-6157

古代史部会

「古墳講座」（第 376 回）

◆3月 25 日（第４土）午後7時～
◆「考古学から読み解く『日本書紀』（１）～天武・持統の時代～」

◆4月 22 日（第４土）午後7時～
◆「考古学から読み解く『日本書紀』（２）～「大化の改新」の時代～」

今年の古墳講座は、日本書紀を考古学の立場から読み解いていきます。持統紀から逆のぼりつつ…。お楽しみに！

中世史部会

「中世を読む」（第 347 回）

◆3月 18 日（第3土）午後2時～
◆福山市民参画センター
◆講師　田口義之（会長）
◆内容「毛利家重臣口羽氏と琵琶甲城（青春きっぷの旅の事前学習会）」

◆4月 15 日（第3土）午後2時～
◆福山市民参画センター
◆講師　大場和弘
◆内容「未定」

近世・近代史部会

「近世福山を読む」（第 49 回）

◆3月 11 日（第2土）午前 9 時 45 分
◆福山市民参画センター
◆講師　高木康彦（部会長）
◆内容「大干拓時代を迎えた福山藩　―正保期―」
正保元年(1644）城下の東方では市村沖新田の植え付けが始まったのを皮切りに引野佃沖新田、深津沖新田などが次々と干拓。同時に南方では福山沖新田が造成され、福山藩の大干拓時代を迎えます。

◆4月8日（第2土）午前 9 時 45 分
◆福山市民参画センター
◆講師　瀬良泰三
◆内容
《第一部》
「鞆鉄道跡と旧芦田川跡を歩く」
昨年 10 月に行ったぶら探訪の内容について、座学で再度との要望がありましたので、説明しきれなかったことも含めて説明します。
《第二部》
「深津高地を地形から考える」
有名な場所でありながら江戸時代以前の姿があまりよくわからない深津高地について、地形からわかる当時の姿を考えます。（五月深津歴史ウォークの予備知識にもなります）

古文書解読会

初回のみ
要申込

3月は第５金曜日、
4月は第４木曜日です。
お間違えなきように！

◆3月 31 日（第５金）午後7時～
◆場所　福山市民参画センター
【内容】「河本家文書」

◆4月 27 日（第４木）午後７時～
◆場所　福山市民参画センター
【内容】「河本家文書」

※テキスト代別途必要です。
※新規受付は会員のみ。

上記各部会の講座や古文書講座は参加費 100 円を頂いております。よろしくご協力くださいませ。別途費用がかかる場合もあります。（資料コピー代など）

備陽史探訪の会

【事務局】
〒720-0824　広島県福山市多治米町5-19-8
TEL&FAX　084-953-6157
E-mail　info@bingo-history.net

公式サイト
http://bingo-history.net

会報 195 号原稿募集！

４月発行の会報 195 号の原稿を募集しています。備後郷土史に関するものは何でも差支えなし。論文・論考・資料提供・絵・写真・俳句・随筆・昔語り・質問、他、例会報告など会員の皆様の投稿をお待ちしております。３月 16 日（木）までに事務局編集部まで。規定は 16 文字× 120 行。（論文・論考は 16 文字× 244 行程度）